※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ｉ版 化学基礎 改訂版　（啓林館）						
副教材等	ワンステップノート化学基礎　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本講座では、物質の性質や変化を、原理や法則に基づいて理解することを目標とします。授業では、用語や計算方法を覚えるだけでなく、観察・実験や図・式を用いて「なぜそうなるのか」を考えることを大切にします。また、身近な現象と結び付けて考えることで、化学をより身近に感じられるようにしましょう。

2　学習の到達目標

物質やその変化に関わり，化学的な見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質や化学現象を科学的に探究するために必要な資質・能力が身に付いているかを，次の観点から捉える。
(1) 物質の構成や性質，化学変化とその利用などについての理解を深め，化学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けているか。
(2) 観察，実験などを行い，物質や化学現象について，化学的な見方・考え方を用いて考察し，その過程や結果を適切に表そうとする力を身に付けているか。
(3) 物質や化学現象に進んで関わり，化学的に探究しようとする態度を身に付けるとともに，化学やその役割に対する興味・関心を高めているか。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質の構成や性質，化学変化とその利用についての理解を深め，化学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基礎的な知識及び技能を身に付けている。	観察，実験などを行い，物質や化学現象について，化学的な見方・考え方を用いて科学的に探究し，その過程や結果を適切に表そうとする力を身に付けている。	物質や化学現象に進んで関わり，化学的に探究しようとするとともに，化学に対する興味・関心を高め，主体的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　化学と物質	物質の構成 混合物の分離・精製 元素・単体・化合物 成分元素の検出	a：物質を純物質と混合物に分類し、分離・精製法、元素・単体・化合物の違いおよび成分元素の検出方法を理解している。b：物質の性質を基に分類や分離方法､成分元素の検出方法を考え、根拠をもって説明できる。c：物質の性質や構成に関心をもち､分類や分離･精製、成分元素の検出について進んで調べ、学習に取り組んでいる。	確認テスト 中間考査	確認テスト 中間考査	ワークシート 発言・発表，観察等
	第2章　物質の構成粒子	原子の構造・同位体 電子配置 イオンの生成とエネルギー 元素の周期表	a：原子の構造や同位体、電子配置、イオンの生成とエネルギー､周期表と元素の性質の関係を理解している。 b：電子配置や周期表を基に、原子やイオンの性質を関連付けて考え､説明できている。c：原子や元素の性質に関心をもち､電子配置や周期表との関係を進んで調べ学習に取り組んでいる。	確認テスト 期末考査	確認テスト 実験レポート 期末考査	ワークシート 発言・発表，観察等
2学期	第3章　化学結合	イオン結合 共有結合・配位結合 電気陰制度と極性 分子間力 金属結合	a：イオン結合、共有結合･配位結合、電気陰性度と極性、分子間力、金属結合の特徴と物質の性質との関係を理解している。b：結合の種類や電気陰性度を基に､物質の構造と性質の違いを関連付けて考え､説明している。c：化学結合と物質の性質に関心をもち、それらの関係を進んで調べ学習に取り組んでいる。	確認テスト 中間考査	確認テスト 中間考査	ワークシート 発言・発表，観察等
	第1章　物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質量と粒子の数･質量･気体の体積 溶液と濃度 化学反応式 化学変化の量的関係	a：原子量・分子量・式量や物質量を用いて、粒子数・質量・気体の体積・溶液の濃度および化学反応の量的関係を理解している。b：物質量や化学反応式を基に､化学変化における量的関係を考え、適切に表現している。 c：物質量や化学変化に関心をもち、計算や反応の関係について進んで調べ学習に取り組んでいる。	確認テスト 期末考査	確認テスト 実験レポート 期末考査	ワークシート 発言・発表，観察等

※令和４年度以降入学生用

3学期	第2章　酸と塩基　第3章　酸化還元反応	酸と塩基の定義 中和反応の量的関係 酸化還元の定義 酸化還元の化学反応式	a：酸と塩基および酸化還元の定義を理解し、中和反応や酸化還元反応を化学反応式で表すことができる。b：定義や反応式を基に、中和や酸化還元における量的関係や電子の授受を考え、説明している。c：酸・塩基反応や酸化還元反応に関心をもち、反応の仕組みや量的関係を進んで調べ学習に取り組んでいる。	確認テスト 学年末考査	確認テスト 演習レポート 学年末考査	ワークシート 発言・発表，観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度